

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 凡事徹底
- 基礎的基本的な学力の定着
- 思考力、表現力の育成

＜本年度の学力向上策＞

- 1 学習規律の確立
 - ・桜木中学校区の行動目標（1時間で始めよう 2廊下は右側を歩こう 3忘れ物ゼロをめざそう 4私語ゼロで話を聞こう 5相手の気持ちになって、行動しよう）を推進する。
 - 【廊下を走らず歩く児童 90%以上】
 - 【いじめや友達の嫌がることをせずに仲良く生活する児童 90%以上】
- 2 児童が主体的に学ぶ授業づくり
 - ・その時間の学習のめあてを明確にした授業を実施するとともに、振り返りによる学習の確認をする。
 - ・考える時間や話し合う時間、発表する時間を取り入れた授業を展開する。
 - ・問題解決学習において適用問題の時間を確保し充実させることで、児童の学びを確かなものにしたたり、考えを広げたりできるようにする。
 - 【全単元中、80%以上で適用問題の実施】
 - 【授業は分かりやすく楽しいと感じる児童 90%以上】
- 3 教職員研修の充実
 - ・アンケートを実施し、結果を分析することで本校の児童の実態を把握する。算数科についての研究を推進し、組織的な指導力の向上を図る。
 - 【授業研究会を年間3回以上実施】

＜本年度の振り返り＞

- 1 学習規律の確立
児童アンケートでは、「廊下は走らず歩いている」に肯定的に回答した児童が86%であった。児童会が「廊下歩行キャンペーン」を実施し、児童への呼びかけを行ったことで、廊下歩行に対する意識が少しずつ高まってきている。また、「いじめや友達の嫌がることをしないで仲良く生活している」に肯定的に回答した児童は94.9%であった。生徒指導体制の充実といじめ防止に向けた取組によって児童が相手を思いやりながら生活することができている。
- 2 児童が主体的に学ぶ授業づくり
算数科の授業を中心に、問題解決学習の充実を図った。80%以上の授業で適用問題に取り組む時間を確保することができ、児童の学びを確かなものにするのができたと考える。また、児童アンケートでは、「授業は楽しく、わかりやすい」に肯定的に回答した児童が92.5%であった。児童が授業に主体的に臨み、仲間と楽しく学び合うことができるような授業を展開することができたと考える。
- 3 教職員研修の充実
全学年で算数科の授業研究会を実施し、指導力の向上を図った。算数科についての児童アンケートでは、「算数が好きですか」に81.9%の児童が肯定的な回答をしていることから研究の成果と捉えることができる。